

UCO

Let's make our dreams come true together.



vol. 04

Take Free

ごあいさつ

If you can dream it,
you can do it.

Walt Disney

日本に“約70万件”あるといわれている宿泊施設と飲食店。その一軒一軒には、誕生に至るまでのドラマがあります。本誌では、そんな宿泊施設や飲食店など様々なお店がつくられるうえでオーナー様の“思い”や長年に渡って温めてきた“夢”、こだわりなど、お店に足を運んだだけではなかなか知ることの出来ないエピソードをご紹介します。本誌をお読みいただき、是非、足をお運びいただけると幸いです。

For Dreamer...



前記の言葉は、世界的アニメーターでありディズニーランド創業者のウォルト・ディズニーが残した、「夢を見ることが出来れば、それは実現できる。」という、夢を追う人への応援の言葉です。皆様の思い描く夢も、いつの日か叶いますように…。

INDEX

目次

HOTEL

- 02…特集 北海道の街道めぐり
- 03…Episode01 焚火ダイニングカフェ ハルランナ
- 05…Episode02 心のリゾート 海の別邸 ふる川
- 07…Episode03 定山溪温泉 ぬくもりの宿 ふる川
- 09…Episode04 運河の宿 おたる ふる川
- 11…Episode05 ホテル大雪 ビュッフェダイニング HINNAの森
- 13…Episode06 ホテルムニン富良野
- 15…Episode07 幌加内 せいわ温泉 ルオント



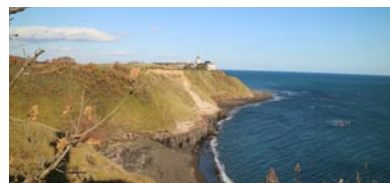
Hokkaido MAP



特集 北海道の街道めぐり

北海道には、世界に誇れる魅力いっぱいの自然と地域が沢山あります。ドライブを楽しみながら、まだ知らない新たな北海道を探してみませんか。

①白老 ポロト湖ーアヨロ海岸 | 国道36号線



③層雲峡ー黒岳 | 国道39号線



⑤富良野ー中富良野 | 国道38号線、国道237号線



②定山溪ー小樽 | 道道1号線



④幌加内ー朱鞠内湖 | 国道275号線





Shiraoi

Episode01

焚火ダイニング・カフェ ハルランナ

ウポボイ(民族共生象徴空間)内にある、アイヌ文化の“響き”を感じるダイニングカフェです。北海道の素晴らしい気候と地形、水が生み出した個性ある食材を四季折々の色使いで、新鮮に表現をし、先住民の知恵と現代の技をすべて盛り合わせ、一皿一皿に伝統と今を呼応させました。自然を敬い、共存するアイヌ文化の精神を現代人が学び、共感することで北海道のオリジナルな食文化として、皆様に喜んでいただける料理やスイーツ、コーヒーなどをお楽しみいただけます。



小さなライブラリー



自然と木のぬくもりの中で
心安らぐ時間を過ごす。



TAKIBI DINING CAFE
HARU
RAN NA



ウポボイとカフェテラス

アイヌ文化の豊かさを 味わえるダイニングカフェ



ハルランナの店内は、自然と共生してきたアイヌ文化をイメージし土壁や木の床、無垢材のカウンター、手づくり感覚の家具など、素朴でシンプルなデザインとなっています。また、アイヌの焚火をテーマとしたオープンキッチンや世界の食文化をテーマにした小さなライブラリー、そして外のカフェテラスではウポボイとポロト湖畔の景観を楽しみながらくつろぐことができます。



振る舞いの料理たち





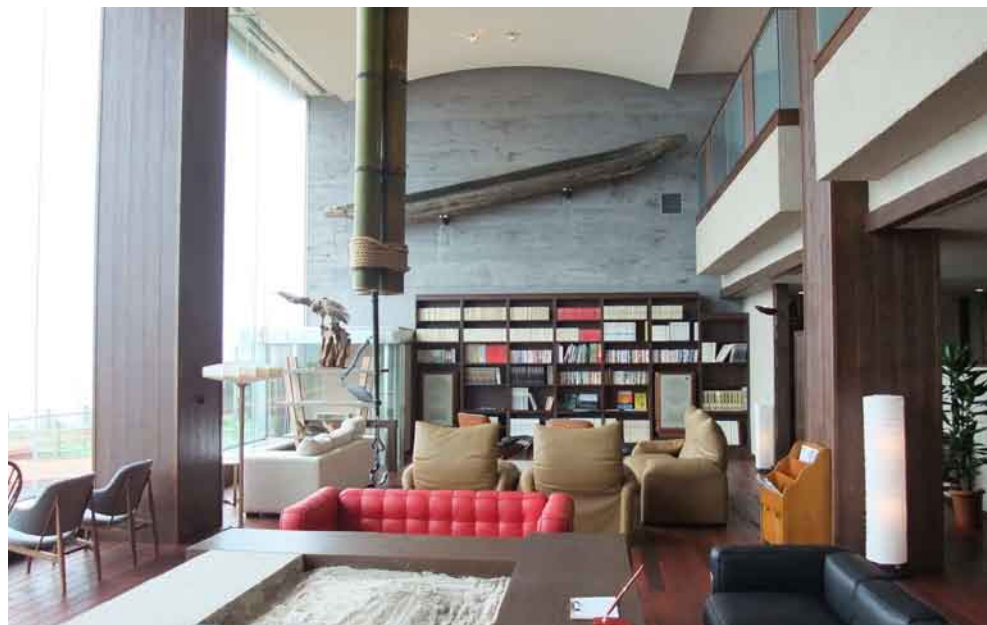
Shiraori

Episode02

心のリゾート 海の別邸

ふる川

虎杖浜の小高い丘の上にある心のリゾート海の別邸ふる川は、海が最高のおもてなしをしてくれる、あなただけの別荘です。食事は前浜の旬な幸を主に、白老牛など地元の味などを楽しむことができます。ウポボイを見たあとは、是非一泊してみたいかでしょうか。



リビングのようにくつろげるロビーラウンジ



開放感のあるテラスデッキで海の鼓動を存分に感じることができます。

海を眺めながら、
穏やかに、心を潤す。

虎杖浜のアヨロ海岸は、アイヌにまつわる海の神話の宝庫です。さらに縄文土器も多く出土していることから、この地は人々の生活が太古から脈々と今につづいている神の庭といえます。海の別邸ふる川は、その太古からのおくりものを感じながら、ゆっくりとした時を過ごせる心のリゾートです。



露天風呂は海に包まれたような一体感を感じることができ、心地よい、最高の贅沢感を味わうことができます。



オーシャンビューの客室

道道1号線はその昔、岡山から来た修行僧美泉定山が1866年にアイヌに導かれて、小樽の朝里付近から道なき道を歩き、山奥で湧き出す温泉を発見し、今日の定山溪温泉を築きました。その後、昭和7年に定山溪の夢だった小樽一定山溪間の道路が完成し、緑豊かな自然とともに、朝里川・オタルナイ湖やさっぽろ湖のダム湖の水辺景観を約30分のドライブで楽しむことができます。



さっぽろ湖

道路沿いには展望台が4か所あり、紺碧の湖と、深緑の山々を楽しむことができます。秋の紅葉もおすすめです。



美泉定山

温泉開発に生涯を捧げ、現在の定山溪温泉の礎を築いた修行僧です。

アクセス

札幌市内から定山溪温泉へは国道230号線で45分、さらに小樽へは道道1号線で45分です。

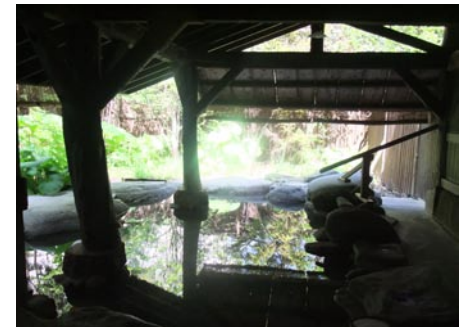
Episode03

ぬくもりの宿 ふる川

ぬくもりの宿ふる川は当時、定山坊が病や怪我に苦しむ人々のための湯治場の湯守として努めたことから、その志を今に伝え継ぐ温泉宿として、人々から親しまれています。



展望サロンで、
贅沢な時間を過ごす。



(上) 奥の湯『ゆ瞑み』は定山溪の原風景を思い、瞑想しながら湯を楽しむ、古代ゆかしい露天風呂です。

(左) 心の里定山は、美泉定山にちなんでつくられた足湯カフェです。夜はふる川にご宿泊のお客様専用サロンとしてご利用いただけます。



最上階にある3室のプレミアムルームと屋上露天風呂、そして展望サロン。夜はキャンドルと星の明かりだけで150年前のロマンに浸ることができます。



Otaru

Episode04

運河の宿 おたる

ふる川

おたるふる川は、北前船の歴史とともにある運河沿いにあり、当時の商屋の想いをテーマにしながら、さらに小樽運河の景観も楽しめます。特に帳場をイメージしたフロントやロビーラウンジ、レストランなどでは小樽の和洋折衷様式やハイカラ文化を楽しむことができます。



昔の運河沿いにあった商屋イメージの外装

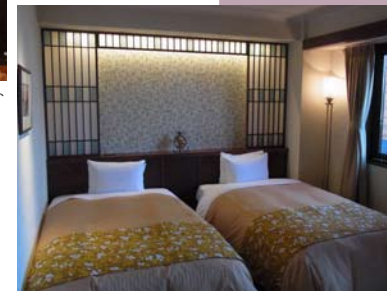


文学の街、小樽にちなんだ2階のライブラリーサロンは、ゆっくりと読書などをお楽しみいただけます。



帳場風のフロント

懐かしい空間が
お客様を迎えてくれます。



ハイカライメージの客室



水琴窟の寝風呂

ホテルの奥にある2階建ての大浴場には中庭があり2つの露天風呂や、水琴窟の寝風呂などがあります。軟石による小樽の蔵をイメージした重厚な空間の大浴場となっています。



中庭の蔵の瓦を使った露天風呂

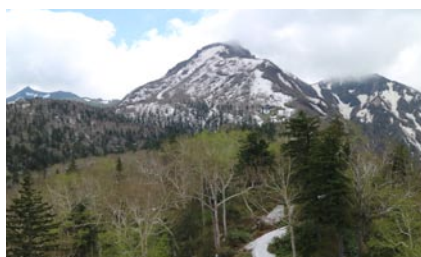


Souunkyo

Episode05

層雲峡温泉 ホテル大雪

黒岳のロープウェイに乗り、カムイミントラ(神々の遊ぶ庭)を満喫した後は、層雲峡温泉で一番黒岳に近いホテル大雪が山荘風のロビーラウンジで、登山後の寛ぎのひとつを提供してくれます。また温泉は三つの大浴場、二つの露天風呂があり、どちらも層雲峡のパノラマを楽しむことができます。



黒岳と層雲峡の風景



フロント・ロビー

札幌から層雲峡ホテル大雪までは、高速で2時間30分。黒岳ロープウェイは、層雲峡駅から標高1300メートルの黒岳駅まで片道約7分のため、手軽に大雪山国立公園を楽しむことができます。



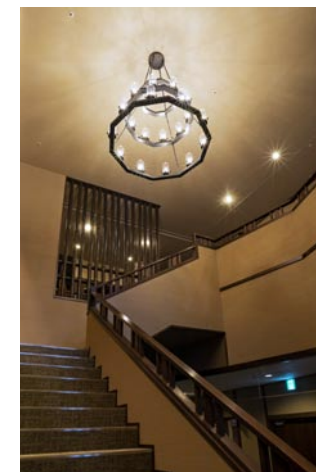
森をテーマにした客席

ビュッフェダイニング

HINNAの森



「大雪の森の恵み」をコンセプトにしたメインダイニングレストランは木素材をふんだんにつかった、森をイメージしたインテリアです。アプローチの階段も森を歩く楽しさを演出し、上がりきるとHINNAの森が見えてきます。



森の階段





Furano

Episode06

ホテルムニン富良野

ホテル名の『ムニン』とは、北欧神話に登場する、神に仕える『記憶』を意味するカラスの名前です。旅の思い出がいつまでも記憶の1ページとして残るよう、訪れた方に寄り添っているようなホテルであるようにという想いが込められています。富良野スキー場まで徒歩5分、北欧と『和』が融合した心温まるデザイナーズホテルです。

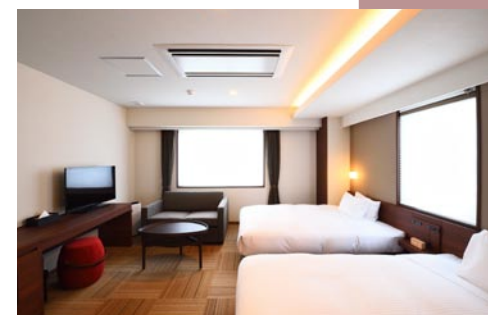
富良野MAP



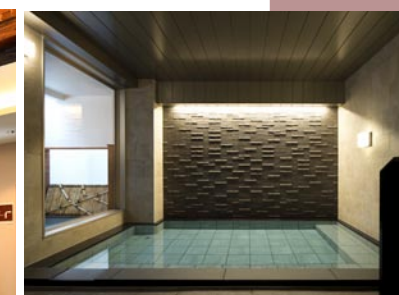
富良野は、パウダースノーが楽しめる北の峰の富良野スキー場や、ふらのワイン、ラベンダー畑、四季のガーデン、そして「北の国から」のロケ地でも有名です。さらに、中富良野、上富良野、美瑛まで連なる広域観光圏として、北海道を代表する観光地です。



春から秋にかけて、窓の外にハーブガーデンを楽しむことができるカフェレストランです。ライブラリーやパーもあり、お好みの椅子であなただけの素敵な時間をお過ごし下さい。



お部屋は全部で5タイプをご用意しています。人数や滞在スタイルにより、お客様にあったお部屋をセレクトして頂けます。



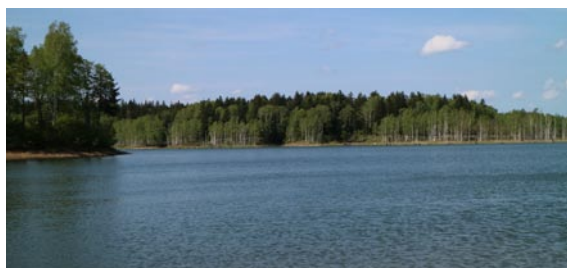
大浴場にはゆったりとした内風呂と露天風呂があります。また、囲炉裏のあるリビングスペースではほっと安らぐ豊かな時間をお過ごしいただけます。

幌加内 せいわ温泉 ルオント

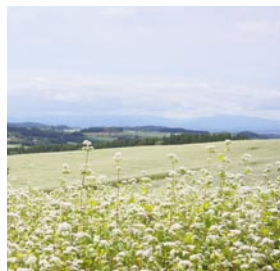
北欧をイメージした外観や内装は、幌加内の自然にマッチした温泉施設となっています。中に入ると、足湯や暖炉があるロビーや売店、そしてそばダイニング「そばの里」があります。



ルオントまでは、札幌から高速を使うと約2時間30分、さらに朱鞠内湖までは30分、日帰りが可能なドライブコースです。



どこか北欧の湖を感じさせる、道立自然公園の朱鞠内湖は日本最大級の人造湖で、絶滅危惧種のイトウが棲むことから神秘的な湖と呼ばれています。周辺施設には、遊覧船、レストラン、キャンプ場などがあり、大自然の中、カメラや釣り、キャンプなどのアウトドアを楽しむことができます。



幌加内は自然条件がそば栽培に適していることから生産量、作付面積ともに日本一を誇っています。また、日本最寒記録41.2度を記録したことから、日本一寒く、道内有数の豪雪地域としても有名です。



ダイニング『そばの里』では、手打ちにこだわった本格的なそばと、季節の天ぷらを味わうことができます。

Design Proposal

[イメージスケッチ]



[完成写真]

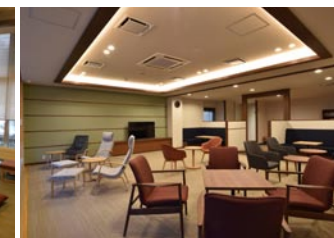


ロビーラウンジ



豪雪露天風呂

日帰り温泉には、休憩サロンや大浴場、そして2つの露天風呂があります。そのひとつの露天風呂は、冬には豪雪の中トンネルをくぐると、すっぽり雪に囲まれた露天風呂を楽しむことができます。



自然の中で、のんびり過ごすひとときを。

Information

Place

焚火ダイニング・カフェ ハルランナ	住 所 〒059-0902 北海道白老郡白老町若草町2丁目3 (ウポバイ内) 電話番号 0144-84-6545 営業時間 11:00-ウポバイ閉園時間 [LO閉店30分前]
心のリゾート 海の別邸 ふる川	住 所 〒059-0641 北海道白老郡白老町虎杖浜289-3 電話番号 0144-87-6111 WEB https://www.kokorono-resort.com/
定山溪温泉 ぬくもりの宿 ふる川	住 所 〒061-2303 北海道札幌市南区定山溪温泉西4丁目353 電話番号 011-598-2345 WEB https://www.yado-furu.com/
運河の宿 おたる ふる川	住 所 〒047-0031 北海道小樽市色内1丁目2-15 電話番号 0134-29-2345 WEB https://www.otaru-furukawa.com/
層雲峡温泉 ホテル大雪	住 所 〒078-1701 北海道上川郡上川町層雲峡 電話番号 01658-5-3211 WEB https://www.hotel-taisetsu.com/
ホテル ムニン富良野	住 所 〒076-0034 北海道富良野市北の峰町10-23 電話番号 0167-56-7773 / FAX番号 0167-23-4692 WEB https://www.hotelmunin.com/
幌加内せいわ温泉 ルオント	住 所 〒074-0425 北海道雨竜郡幌加内町政和第一 電話番号 0165-37-2070 / FAX番号 0165-37-2072 WEB https://horokanaisoba.com/ 営業時間 10:00-21:00 水曜定休

あとがき

表紙の"UCO"という言葉は、アイヌ語で "一緒に、お互いに協力して" という意味を持つ言葉です。
ホテルや飲食店などのお店をつくりあげていくうえで、「足並みをそろえて、一緒に夢を実現していきたいしょう！」という姿勢を当社では大切にしており、本誌サブタイトルを"Let's make our dreams come true together"とさせていただきます。
また、よりよい空間をつくるためのディスプレイや音楽などのソフト面も重要視しており、アーティストの方など様々な方と一緒に"つくりあげていきます"。
株式会社オズは、観光ホテルを中心に、店舗や住宅の企画・設計を通し、お客様の夢を実現するためのお手伝いをさせていただいております。

編集・発行

Design&Consultant

株式会社オズ

〒063-0830 札幌市西区発寒10条4丁目9-1
TEL: 011-667-6672 / FAX: 011-667-6811
E-mail: ozdesign@cocoa.ocn.ne.jp
HP: <http://www.os-design.co.jp/>

オズ ホテルデザイン 札幌 検索

今回の表紙デザインは、ホテル大雪「HINNAの森」でも参加していただいた北海道の写真家、黒瀬ミチオさんの作品『白老の海辺の風景』を使わせていただきました。
黒瀬 ミチオ / <http://kurose-photo.jp/>